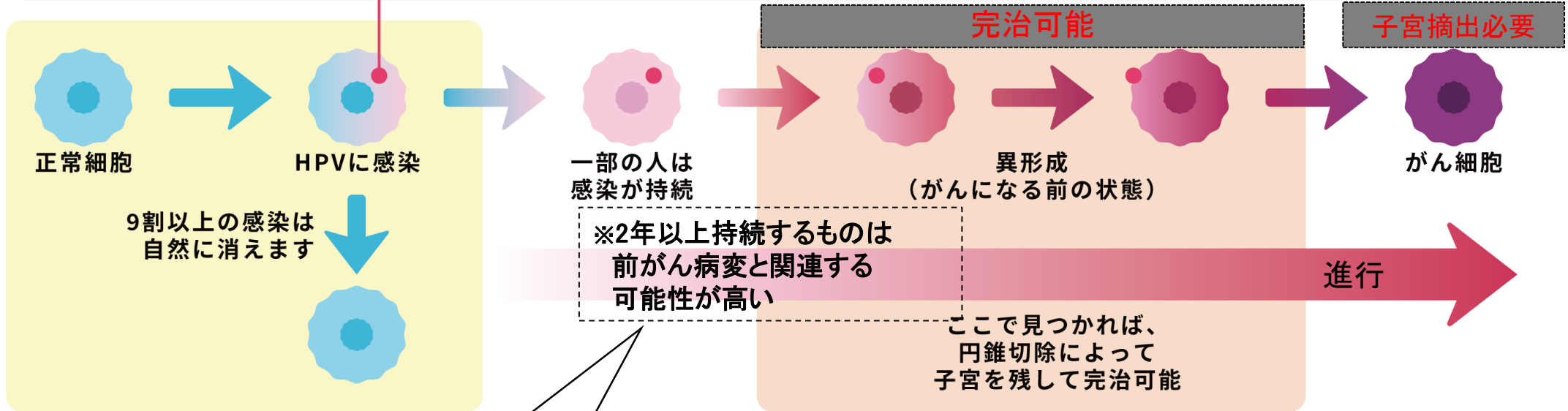


子宮頸がんにかかる仕組み

ヒト・パピローマ・ウイルス (HPV)

8割の女性が一生に一度は感染されると言われるウイルスです。
そのうち9割以上の方は自然に感染が消えますが、一部の方はがんになってしまうことがあります。



当組合の加入者様(20歳以上)は、「毎年」自己負担なしで子宮頸がん検査をご受診いただけます。

医師による細胞診検査 (=子宮頸がん検診)

子宮頸部から細胞をこそぎ落とし顕微鏡で調べることで、異常細胞の有無を検出 (医師による採取が必須)

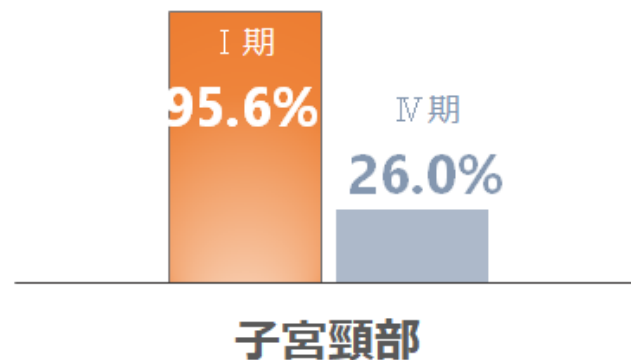
がんになる前の早期発見が重要

◆がん化してしまうと、I期であっても
原則子宮摘出が必要 ⇒妊娠・出産が不可能

◆手術に伴う後遺症

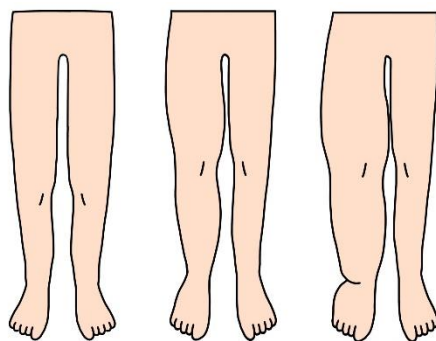
- ・ 排尿障害
- ・ 卵巣摘出⇒更年期症状
- ・ リンパ節切除⇒リンパ浮腫

I期とIV期で発見された時の5年相対生存率の比較



リンパ浮腫

- ・ むくみ、痛み
- ・ 歩行に支障（通勤・日常生活）
- ・ 長時間の座位や立位が困難
⇒デスクワークや立ち仕事に支障



リンパ浮腫の詳細は↓

<https://jsprs.or.jp/general/disease/sonota/rinpafushu/>

（一般社団法人日本形成外科学会 ホームページ）